

学外授業を実施しました

2011年12月3日（土）、観光学演習Ⅱ・Ⅰクラス（峯俊ゼミナール）では学外授業を実施しました。

このクラスは世界遺産を研究対象としているため、訪問地として選んだのは世界遺産「古都奈良の文化財」が所在する奈良市です。今回の目的は、「奈良市における世界遺産保護と観光振興の関わり方を知る」ことにありました。

行程は、林慶祐さんと森口翔太さんが組み、東大寺、奈良公園、そして春日大社へ行くことになりました。

中国からの留学生たちは鹿に関心があり、道中で「鹿せんべい」を購入して鹿に与えていました。



観光による世界遺産への影響として、観光者による落書きや破壊などがあげられます。東大寺大仏殿内の柱をみると、刻まれた落書きが多くありました。

また、この日の客層をみると、欧米からの来訪者が多かったです。

学生には今回の学外授業で気が付いたことを、これからの研究のなかで活かして欲しいです。

